

ジュニア賞

## 敬語で恋して

高山 紗季（高校3年生：千葉県）

このゲームのキャッチコピーは、  
～伝えたいのに言えない。これって恋？～

本作品は、「敬語を学ぶこと」と「恋愛シミュレーション」を融合させた教育型ゲームである。日常において、学校生活、アルバイト、面接などで適切な言葉遣いは不可欠だが、「どのように言い換えればよいかわからない」という悩みを抱える人は多い。そこで私は「なんて伝えればよいかわからない」の気持ちを恋愛に結びつけることで、楽しく尊敬語、謙譲語、丁寧語を学べるゲームを提案する。

様々なキャラクターが登場し、会話形式で物語を進める。[気になる先輩との会話]や[恋人の両親に挨拶]など、実生活に即した具体的なシチュエーションが提示され、適切な敬語表現を選択、入力することでキャラクターの好感度が変化する。正しい言葉を選ぶほど関係が深まり、物語やエンディングが分岐する。誤った表現を答えた際には、キャラクターが指摘してくれ、恋愛ゲームらしい自然な会話の流れで解説を行う。これにより、ただの正誤判定ではなく“会話としての学び”が成立し、理解が深まりやすい。

さらに「英語編」「古文編」のモードを搭載し、学校の授業で取り扱う、英語のフォーマルな表現や古文の敬語表現なども学ぶことができる。

本ゲームをプレイすることによって、将来の面接や目上の人との会話、国語や英語の授業に役立つのではないだろうか。